



令和5年度「工場見学会」(10月27日実施)

目次

「新年のご挨拶」(馳浩石川県知事、村山卓金沢市長、小林靖典理事長)	1
「新しい年を迎えるにあたって」(役員からのメッセージ)	3
「活動報告」(ポリテクセンター石川見学会・情報交換会)	7
「活動報告」(工場見学会)	9
「青年部活動報告」(R5年度青年部「視察研修」レポート)	11



石川県知事 馳 浩

「新たな時代を捉えて飛躍・成長する産業づくりに向けて」

明けましておめでとうございます。令和6年の新春を迎え、皆様には、謹んでお慶び申し上げます。また、日頃から県政の推進にご理解とご協力を賜っておりますことに、心から感謝申し上げます。

県では、昨年9月、石川県成長戦略会議及び5つの部会から頂いたご意見、県議会でのご議論や、県民の皆様からのご意見などを踏まえ、石川の新たな時代を切り拓く今後10年の羅針盤となる「石川県成長戦略」を策定いたしました。

「幸福度日本一に向けた石川の未来の創造」を基本目標に掲げ、「新たな時代を捉えて飛躍・成長する産業づくり」をはじめとした6つの戦略と「デジタル活用の推進」、「カーボンニュートラルの推進」という2つの横断的戦略のもとで、38の施策を盛り込んだほか、戦略ごとの14の主要目標と施策ごとの160のKPIを設定しました。

今年を「成長戦略実行元年」と位置づけ、具体の施策や数値目標の進捗状況について、新たに設置する石川県成長戦略「ミライカイギ」において、県内各地域の次代を担う方々からご意見を伺うこととしており、こうした取り組みを通じて、成長戦略の実行性を高めてまいります。

この新しい年が皆様にとりまして、明るい展望の持てる年となるよう心からお祈り申し上げますとともに、県政に対する一層のご支援、ご協力をお願い申し上げ、新年のご挨拶といたします。



金沢市長 村山 卓

「ものづくり産業の基盤強化に向けて」

新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、新しい年を健やかに迎えることと心よりお慶び申し上げます。また、日頃より市政の推進にご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、地域経済の情勢は、エネルギー・原材料価格の高騰や円安の進行など、急速に変化しており、ものづくり産業は大きな転換期を迎えております。これらを乗り越えるためには、DXによる生産性の向上や、省エネ・脱炭素への取組など、時代に即した変革が急務となっております。

このような状況を踏まえ、本市では、ものづくり産業の事業基盤を強化すべく、デジタル人材の育成をはじめ、新製品開発や販路開拓への支援、設備投資の促進、加えて、省エネ対策支援などに取り組んでおります。さらに、ものづくり人材の確保・育成のほか、AI、IoT、ロボット等の技術を活用した自動化・省力化に向けた取組や、新産業の創出にも力を注いでまいります。

新しい年が貴組合及び組合員の皆様にとりまして、明るく幸多き年となりますようお祈り申し上げます、年頭のご挨拶といたします。



北陸鉄工協同組合 理事長 小林 靖典

(株)小林製作所・代表取締役社長)

新年あけましておめでとうございます。組合員の皆様には、良き年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、今年もまた新しい年が始まります。新しい時代に向け私たちが挑戦していく年です。地球温暖化対策として自動車の排ガスを減らすために、ヨーロッパや中国を中心に、各国は電気自動車の普及を図ってきました。その影響で日本の自動車産業はエンジン向けの設備投資を控える形となりましたが、工作機械もこの影響を受けています。しかし EV の現状のバッテリーには様々な問題があり、安全性と利便性が確保できないため、実用的ではないことがようやくはっきりしてきたようです。これからは内燃機関が見直され、工作機械関係も需要が回復していく年であることを願っています。

今、世界は大きなうねりの中で流動化しています。世界の通貨も物価も賃金も国境も経済も流動化し、専制国家が力で問題解決を計っています。世界は専制国家と民主主義との対立構造となり、もはやその間では対話で解決ができない形になって、各地で紛争が起きています。これらの事柄は「まさかの時代を生きる」という事の表れです。私達もこの新しい年に「まさかの時代」に備えてしっかりと中心軸を整えておきたいです。

そしてまた、2000年以降の情報革命が社会を大きく変貌させています。科学技術においては人が思い描いたことが早く現実化できますし、仮想商店・仮想世界・仮想通貨などのバーチャルな世界が拡大しています。そして情報分野においては新しい技術が次々と現れ、便利な世の中へ変化し続けています。このような変化の時代にあって、とても大切にしたいのが「人がどう描くのか」という事です。短い時間で色々な事を決めていかなければいけません、そのように考えるように心がけていただければ、より良い未来が訪れると信じています。

そして中小企業に目を向ければ様々な問題が残されています。国による長時間労働の規制で、従来通りの働き方では仕事ができなくなります。また外国人の雇用方法も大きな変更が行われ、安定した人材確保が難しいなか、少子化で新卒者の採用がますます難しくなります。急激な情報化で、会社の中でも対応しきれないことも増えてきました。

ただ中小企業は「人が集まり力を合わせて」が原点です。そして北陸鉄工協同組合は工場を持った製造業が主体です。製造業は工場を中心に多くの人々が協力して生産をしています。組合でもコロナ前に行っていた各種研修制度を再開しつつ、皆様と力を合わせて問題を共有し知恵を出し合い、新たな時代に向かっていきたいと考えています。

最後になりましたが組合員の皆様と従業員の皆様の健康とご多幸をお祈りし、年頭のご挨拶とさせていただきます。

新しい年を迎えるにあたって ～役員からのメッセージ～

	<p>専務理事 米澤卓也 (暁化学工業㈱ 代表取締役社長)</p> <p>新年あけましておめでとうございます。ウクライナの戦争が終結する兆しもないうちにパレスチナで多くの人々が犠牲になる紛争が勃発しました。世界から戦争やテロが今年こそ無くなる事を願ってやみません。</p> <p>原材料高、人手不足、DXへの対応、BCPの策定、環境への配慮など我々がやるべきことは山積しています。組合を通じて皆で切磋琢磨しながら活動していきましょう。</p>
	<p>常務理事 金森和治 (㈱金森合金 代表取締役社長)</p> <p>今年私は古希になります。昔は古来希になる存在でしたが、今の日本では70歳以上の人口比は30%になります。又自然災害でも想定外の規模になっていますが、当たり前で無いことが当たり前になる現実を見ると、危機管理の大事さが浮かび上がってきます。</p> <p>最近の企業・大学・エンタメ業界の不祥事を見ると、初動対策や予防策など企業の危機管理を構築することが、生き残りの大前提となります。今年も良き1年でありますように祈念します。</p>
	<p>常務理事 小池田康秀 (㈱北都鉄工 代表取締役社長)</p> <p>新しい年を迎え、この一年がどんな年になるのかわくわくしながらスタートを切りました。昨年はコロナも5類になり世の中も少しずつ普通の流れになってきました。人もモノも動きだし今年さらにはその流れが加速していきます。コロナを経験して仕事の取り組み方が大きく変わりました。この経験をチャンスと捉え、次の時代に向けてそれぞれが変わっていく大事な一年です。気持ちを前向きに頑張っていきましょう。</p>
	<p>常務理事 松井孝憲 (㈱松井製作所 代表取締役社長)</p> <p>新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いたします。</p> <p>今年の干支『甲辰』の(春の日差しが、あまねく成長を助く年)の意味通り、組合員企業皆様が、日々培ってきた技術とノウハウの実が芽を出してすくすくと大きく成長する一年となることを心よりお祈り申し上げます。</p>

	<p>理事 明石隆史 (株明石合銅 代表取締役専務)</p> <p>新年明けまして、おめでとうございます。</p> <p>世の中の変化のスピードに合わせて、企業も変化して行かなければ、生き残れない時代がやってきています。組合活動を通じて、いろいろな方と交流すれば、変化のヒントを頂けること間違いなしですので、積極的な行事へのご参加をお待ちしています！</p>
	<p>理事 岡田 等 (オカダ合金株 代表取締役社長)</p> <p>新年 (そしてコロナ禍から) あけましておめでとうございます。</p> <p>昨夏以降、様々な行事や交流の場が再開され、生きてる心地を感じています。景気の動向は分かりませんが、「不幸な分だけ、必ず幸せはある」と信じ、会員一同切磋琢磨して頑張っ参りましょう。</p> <p>本年もよろしくお願ひいたします。</p>
	<p>理事 川原龍之介 (株BBS 金明 代表取締役社長)</p> <p>昨年は働き方改革の流れがより一層加速し、多くの企業や組織が柔軟で効率的な働き方に注力した年だったように感じます。今年も引き続き、労働環境の向上や従業員のワークライフバランスの確保に努め、企業として持続可能な働き方を模索していきましょう。また、新たな挑戦に向けての準備も整えつつ、組合の皆様と共に、新たな時代を切り拓いていくことを楽しみにしています。本年も宜しくお願ひ致します！</p>
	<p>理事 木地治三郎 (株木地リード 代表取締役社長)</p> <p>2024年、新年あけましておめでとうございます。昨年は世界経済が多くの挑戦を経験しましたが、AI 技術の進歩により、未来への希望が見出されています。今年も、変化に富んだ一年になることを願ひ、共に成長を目指しましょう。</p> <p>(便利な世の中になり、この文章も ChatGPT が作成しました)</p>
	<p>理事 北 健一 (株北製作所 代表取締役社長)</p> <p>謹賀新年。労務関連の法改正で働き方が大きく変わる中、当組合には新たな設備投資で生産性向上をはかる企業がたくさんあります。そんな先進企業の取り組みを参考にできる工場見学会。昨年は参加者40名を超え大盛況でした。今年も開催予定とのこと。勉強の場、交流の場として活用いただき、組合員の皆さまが益々成長する一年となるよう共に歩みましょう。</p>
	<p>理事 黒川真一郎 (黒川工業株 代表取締役社長)</p> <p>アレから38年も経っていたのか・・・の2023。</p> <p>さて、2024。 しなやかに。</p> <p>皆様のお役に立てるHOTでありますように。</p> <p>いいことありますように。まずは懇親会から。</p> <p>本年もよろしくお願ひ申し上げます。</p>

	<p>理事 鈴木信孝 (株)鈴木精機 代表取締役社長)</p> <p>新年あけましておめでとうございます。</p> <p>業界は、技術、ITの進化、市場の変化、そして激しい競争に直面していますが、その中で組合員が智恵を出し合い協力し、持続可能な未来に向けて前進していきましょう。</p> <p>本年も宜しくお願い致します。</p>
	<p>理事 高林秀樹 (株)高林製作所 代表取締役社長)</p> <p>あけましておめでとうございます。昨年は、コロナウイルスが5類に引き下げられ、マスクを外したことで、人の見た目だけはコロナ前に戻りましたが、ただ、世界情勢は、新たな紛争が起きるなど、コロナ前とは全く違い、なかなか先の読めない状況になってきていると感じます。皆さまと情報交換をしながら、乗り越えられる様に頑張っていきたいと思います。</p>
	<p>理事 竹田 悟 (株)竹田栄鉄工 代表取締役社長)</p> <p>新年あけましておめでとうございます。</p> <p>昨年はコロナが5類になり少しずつ景気回復しているように思います。それでも国内では24年問題や物価高、エネルギー問題、海外をみると終わらない戦争、問題はたくさんありますが今年も気を引き締めて頑張っていきたいと思います。本年も宜しくお願い致します。</p>
	<p>理事 前川 要 (富士精機(株) 代表取締役社長)</p> <p>新年あけましておめでとうございます。</p> <p>今年も「人手不足」「人件費の高騰」「原材料価格の高騰」「技術承継の問題」などなど製造業を取り巻く課題が山積みです。組合の情報網、コネクションを最大限に生かしアイデアを出し合って、山積み課題を乗り越えていき皆で勝ち組製造業になるべく前進していきましょう！</p>
	<p>理事 宮崎克洋 (加賀賀電化工業(株) 代表取締役社長)</p> <p>2024年の干支は甲辰(きのえたつ)。「甲」の由来は甲冑、しっかり守りを固めて物事に進み成長につながる始まりを表しており、「辰」の由来は振るう、自然万物が振動し、草木が成長して活力が旺盛になる状態を表します。良くも悪くも昨年までの状況を改め、繁栄へ突き進んでいける年であると信じております。今年も何卒よろしくお願い致します。</p>
	<p>理事 森 浩明 (株)森工業 代表取締役社長)</p> <p>新年あけましておめでとうございます。今年も働き方改革関連法による24年問題で我々製造業でも建設・物流に関係する様々な問題が考えられます。限られた時間の中で効率的に、柔軟な働き方・対応が求められます。組合活動を通し情報・意見交換で頑張りましょう。</p> <p>本年も宜しくお願い致します。</p>

	<p>理事 安島 勲 (株)ヤスジマ 代表取締役社長)</p> <p>新年あけましておめでとうございます。今期より理事を務めさせていただきます。皆さんと協調し、組合運営に尽力したいと思います。本年も何卒よろしくお祈りいたします。</p>
	<p>監事 塩谷栄治 (石川可鍛製鉄(株) 代表取締役社長)</p> <p>新年明けましておめでとうございます。昨年は「コロナ明け元年」となり、少しずつではありますが、日本経済も回復の兆しを見せているように感じます。しかし、まだまだ低調な部分もあります。2024年が、ますます良い方向に向かい、皆様にとってより安定した・豊かな一年となることを心より祈念しております。</p>
	<p>監事 多川裕満 (株)多川製作所 代表取締役社長)</p> <p>明けましておめでとうございます。原材料高や労働力不足が解消する兆しはなく、国際情勢の変化といった不確定要素がついて回っております。新たな局面ではこれまでの常識や成功体験が通用しないこともあります。組合員皆様の力で乗り越えていきましょう。本年もよろしくお祈りいたします。</p>
	<p>監事 中川幾美子 (株)中川鉄工所 代表取締役社長)</p> <p>あけましておめでとうございます。昨年は、いろいろと変化の多い年でした。令和6年、どうありたいかを問いながら、皆さまと一緒に成長していける年にしたいと思います。良い一年となりますことを、心よりお祈り申し上げます。本年もどうぞ宜しくお願い致します。</p>

活動報告

ポリテクセンター石川見学会・情報交換会を開催

- | | |
|-------|--------------------------|
| 【実施日】 | 令和5年9月22日（金） |
| 【訪問先】 | ポリテクセンター石川（金沢市観音堂町へ-1） |
| 【参加者】 | 組合員企業の経営者、青年部員、そのほか実務担当者 |

当組合では青年部と共催で、求職者に対する職業訓練や企業の従業員に対する技能訓練を行っている国の研修機関「ポリテクセンター石川」を下記の日程で訪問。研修施設を見学するとともに、職業訓練の修了者に対する求人や従業員に対する技能研修についての情報交換を行いました。

まずは第一部として、ポリテクセンター石川の菊本泰嗣所長のごあいさつに続いて、訓練課の塩田達彦課長から、センターの概要についての説明をしていただきました。



続いては、実際に2つのグループに分かれてセンターを案内していただき、「電気系」「機械系」そして「居住系」の3つのコースの施設設備の説明や訓練の内容についての説明をしていただきました。参加した皆さんは、指導員の説明に興味深げに聞き入っていました。



見学終了後は元の会場に戻り、同センターが実施している求職者訓練の修了生に対する求人や、従業員の技能訓練に対する支援メニュー等について、意見交換を行いました。

参加者からは、求人難の状況を反映してか、同センターの訓練課程の修了生に対する効果的なアピールについての質問が多く、またセンターからは、個別の企業のニーズに合わせたオーダーメイドの研修についても提案がありました。



今回の見学会、そしてそれに続く情報交換会では大変活発な質疑応答がなされ、従業員の採用や育成について、組合員企業が日ごろから真剣に考え、取り組んでいる様子が見えられました。

組合としても、今後とも組合員企業の人材育成にお役に立てるような企画を提案してまいりますので、また皆様のご参加をお待ちしています。

令和5年度研修事業

北陸鉄工協同組合 & 青年部
ポリテクセンター石川
見学会・情報交換会

日時
9月22日(金)
13:30~15:30

従業員の研修/新規採用

第1部
13:30~14:00 挨拶・概要紹介
ポリテクセンター石川 所長 齋木泰嗣 氏
訓練課 課長 堤田達彦 氏

第2部
14:00~15:00 訓練施設見学
【電気・電子系】
【機械系】
【居住系】

第3部
15:00~15:30 質疑応答/意見交換

情報交換・交流会
従業員の研修や採用など

お申し込みお問い合わせ
北陸鉄工協同組合事務局
TEL:076-267-1955 FAX:076-267-0720

ポリテクセンター石川のご紹介
～ポリテクセンターのHPより～

求職者向け職業訓練

求職者の方(主に雇用保険を受給されている方)を対象に、地域企業の人材ニーズに即した訓練カリキュラムによる幅広い分野に関する専門的技術・知識を習得するための6か月又は7か月の職業訓練を行っています。

在職者向け職業訓練

在職者の方を対象として、業務に必要な技術・技能・知識のレベルアップを図るための短期間の職業訓練(能力開発セミナー)を行っています。またご希望の方に対し、オーダーメイド職業訓練を行っています。

修了生の活躍事例

ポリアクアで活躍しました!
【ポリアクアの就職活動のきっかけ】
モロロウ研修中に知り合ったことがきっかけです。人生で初めて就職活動でしたが、研修期間中の研修活動で、その中の研修活動で、大いに学びました。就職活動で応募することになりました。

就職活動が成功しました!
研修期間中に知り合ったポリアクアの人材育成課の職員と知り合いました。研修活動を通じて、ポリアクアの企業文化や、ポリアクアの就職活動のサポート体制を知ることができました。ポリアクアの企業文化や、ポリアクアの就職活動のサポート体制を知ることができました。ポリアクアの企業文化や、ポリアクアの就職活動のサポート体制を知ることができました。

資格取得 修了生

株式会社 小松電機 瀬戸 雅恵さん
受給資格 (6/15) 取得
年度: 令和5年 7月 入学
年度: 令和5年 7月 修了

【就職活動のきっかけ】
就職活動のきっかけは、研修中に知り合ったポリアクアの職員と知り合いました。研修活動を通じて、ポリアクアの企業文化や、ポリアクアの就職活動のサポート体制を知ることができました。ポリアクアの企業文化や、ポリアクアの就職活動のサポート体制を知ることができました。

就職先が思いのほか安心です!
【就職活動のきっかけ】
就職活動のきっかけは、研修中に知り合ったポリアクアの職員と知り合いました。研修活動を通じて、ポリアクアの企業文化や、ポリアクアの就職活動のサポート体制を知ることができました。ポリアクアの企業文化や、ポリアクアの就職活動のサポート体制を知ることができました。

ポリテクセンター石川とは
新年度も一緒に従業員の採用や
研修に関する事業を企画していく予定です。
またぜひご参加ください!



令和5年度『工場見学会』を開催しました

- 【実施日】 令和5年10月27日（金）
【見学先】 株式会社ヤスジマ 様 （白山市矢頃島町1001番地1）
 中村留精密工業株式会社 様（白山市熱野町口15番地）
【懇親会】 金沢東急ホテル 5階フォレストルーム

当組合では毎年組合員の皆様の研修活動の一環として、先進的な工場訪問、見学会を実施しており、また見学会の後は懇親会を開催。参加した皆様の交流を図っています。

しかしながら新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、工場見学会は令和2年から3年間開催できませんでした。新型コロナウイルスが感染症5類に移行された今年度は、4年ぶりに開催することができました。



当日は金沢駅および石川県鉄工会館に集合。バスで最初の訪問先である㈱ヤスジマ本社工場へ。同社では、まず事業概要の説明を受けた、その後はいよいよ工場施設の見学です。参加した皆さんは、常に新しいモノづくりに挑戦している同社の取り組みに感心。見学後は活発な質疑応答が行われ、最後は金森常務理事のお礼のご挨拶で、㈱ヤスジマ本社工場の見学を終えました。



続いて一行が向かったのは、中村留精密工業(株)。まずは同社の事業内容についてご説明をいただきました。続いて広大な同社の敷地内をバスで移動し、向かった先は同社が新たに竣工・稼働させたばかりの本社新工場 MAGI。残念ながら工場内は撮影 NG でしたのでご紹介はできませんが、十分にゆとりを持ったレイアウト、さらに女性が活躍している姿が印象的でした。



見学後は質疑応答。参加者からの質問に対し、同社の深山取締役（管理本部長）が、社員の一人一人が働きやすい環境を作る努力を続ける同社の取り組みについて、説明してくださいました。



こうして4年ぶりとなった工場見学会は盛況のうちに終わり、夜は金沢東急ホテルに会場を移しての懇親会。見学でお世話になった(株)ヤスジマの安島昇副社長の乾杯のご発声で始まった懇親会は、参加した皆さんが見学会で受けた刺激や気づきを語り合い、楽しい会となりました。



令和5年度 視察研修レポート

青年部部长 木村 吉孝

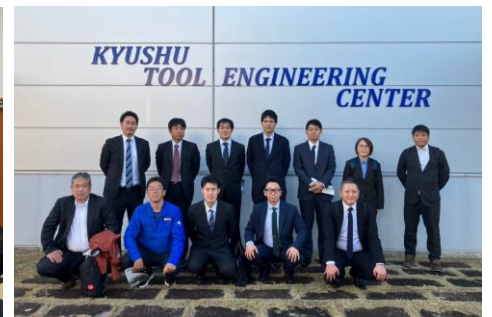


【1日目】11月17日（金）

九州住電精密株式会社

九州住電精密株式会社は、切削加工において広く知られる「住友電工」工具の製造元であり、住友電工ハードメタルの製造拠点として、CBN、PCD、超硬エンドミル、微細ドリルなどの製品を市場に供給している企業です。

見学の冒頭は所在地である佐賀県のPRから始まり、生產品目や生産工程について説明を受けた後、生産工場の見学をさせていただきました。工場内は空調が効いており、高い精度が要求されていることが感じられました。特に自動車分野向けの特殊形状 CBN 工具の加工工程では、非常に高額な海外メーカの設備を使用しており、求める精度をクリアするためには国内メーカの設備では対応できないと教えていただきました。海外メーカの加工精度を絶賛する一方で、メンテナンスには相当な時間が必要で、今後の設備投資に向けた課題解決の為、国内メーカに技術の底上げを依頼しているそうです。また興味深い点として、研削液が設備毎ではなく、一か所のタンクで濃度や洗浄度を集中管理されていることが挙げられます。これにより、高精度な加工を維持されているとのことでした。他には、ほとんどの設備がカバー内で加工されているため工場内に油煙は無く、ミストコレクタやダクトでクリーンな環境を維持していることも印象的でした。



検査工程では、キーエンス製の画像測定機を使用しており、新入社員とベテラン社員との測定誤差を無くす工夫がされていました。各工程の検査は専用設備で自動化が図られていますが、最終検査は人による顕微鏡を使った全数目視検査が厳格に行われており、品質管理の徹底がうかがえました。

場内には安全に関する注意書きルール、無事故の日数が明示されており、安全への取り組み姿勢が強く感じられました。その経緯についてお聞きしたところ、過去に起きた重大な事故を教訓にして様々な対策や努力により、無事故3千日を達成し以降継続されていることが分かりました。これは他の企業においても見習うべき優れた手本と言えるでしょう。

質疑応答では、女性の働き方や長期勤続の促進など、私たち経営者にとって喫緊の課題である人手不足に関する質問や技術的な相談などが寄せられました。九州住電精密での取組や、同行していただいた金沢営業所の高梨所長が技術面で対応してくださいました。

最後に、貴重な企業視察の機会を提供いただき、かつアテンドまでしていただいた山善北陸支店の森本支店長様と住友電工北陸営業所の高梨所長様、視察にご対応いただいた九州住電精密の皆様にご心より感謝申し上げます。

多華味鳥（水炊き）

皆が早朝からの移動や飛行機の揺れ、バス移動、そして企業視察で疲れ切っていた中、ついに宴会が始まりました。メンバーたちはこの機会を心待ちにし、宴会が始まると一気に盛り上がりました。疲れた体には、あっさりとした水炊きがちょうど良かったようです。メンバーの表情からは、疲れを癒すだけでなく青年部の仲間とのひとときを楽しめたことが窺えました。



【2日目】11月18日（土）

一蘭の森

朝一での見学でしたので、製造工程の見学が一部のみだったものの、館内にはとんこつラーメンの歴史や製法、そして一蘭の歴史と「フィロソフィル®」が分かる展示がありました。そこから一蘭がどのようにして独自のラーメン文化を築いてきたかという事や、ラーメンへの情熱や一蘭の伝統が、展示物や説明から伝わってきました。参加メンバーは一蘭の「フィロソフィル®」に共感し、多くのお土産を購入させていただきました。



麒麟ビール

見学では一番搾り製法についての分かりやすいムービーで麒麟ビールの歴史や開発秘話を学びました。麦芽の試食とホップの香りを楽しむコーナーでは実際に麦芽を試食し、噛めば噛むほ

ど出る麦芽の味わいに意外性を感じました。次は仕込みで出来上がった麦汁を試飲。一番搾り麦汁と二番絞り麦汁を飲み比べし、香りや甘みの違いに参加者全員が驚いていました。

お待ちかねの一番搾りの試飲では、製造工程を理解したことで一層美味しく感じ、今夏に収穫したばかりの岩手産生ホップを使用した「一番搾り とれたてホップ」では、ホップの香りを楽しむことができました。一番搾り3種飲み比べでは、「一番搾り」、「一番搾り プレミアム」、「一番搾り 黒生」を味わい、特に黒生はクセがあるという意見が多く、好みが多く分かれました。

最後はメンバーとアテンドのお姉さんとで記念撮影。掛け声は「今夜も一番搾り〜」



九州場所（七日目）

ほとんどのメンバーが初めての相撲観戦ということで、テレビでは感じることのできない迫力や臨場感を味わうことができる良い機会でした。相撲ファンでなくても生観戦は非常に楽しめると誰しもが感じていましたし、小さな子供たちも観戦しており、その無邪気な応援が会場に活気を与えていました。

郷土力士である「遠藤」の取組ではメンバーも熱が入り、応援の声が力強く響いていました。これにより、地元の力士への応援の熱気や一体感を実際に味わうことができました。



北青鵬一翠富士戦では幕内では8年半ぶりの「水入り」という貴重な瞬間を目撃しました。計6分を超える激しい相撲に会場は白熱し、観戦メンバーも興奮冷めやらぬ状態でした。

一藤（もつ鍋）

博多最後の夜、我々は博多グルメの代表格であるもつ鍋を味わうことにしました。もつ鍋の温かいスープと新鮮なもつが織りなす絶妙な味わいに、メンバーは大いに満足しました。また、馬刺しも頂き2次会に向けて元気を取り戻していました。



【3日目】11月19日（日） 大宰府天満宮 福岡タワー

大宰府天満宮

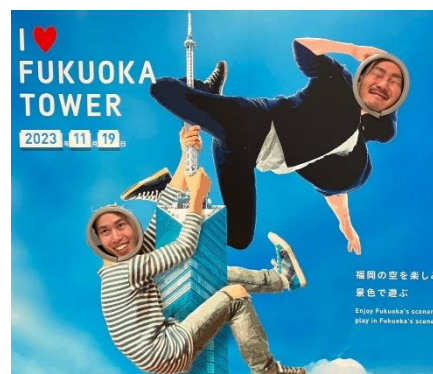
大宰府天満宮は福岡観光の定番スポットであるため、ほとんどのメンバーが複数回目の訪問となりましたが、今年の5月から始まった124年ぶりの「御本殿」の大改修の期間に合わせて訪れることができ、改修期間中にしか見ることができない「仮殿」を参拝することができました。このような歴史的な瞬間に立ち会えたことは、文化や伝統に対する新たな理解を深める機会となりました。

参拝後、参加メンバーは我が子や親戚用に学業御守や学業鉛筆を求め、参道では大宰府ならではののお土産を購入したり、参道グルメを楽しんだりしました。



福岡タワー

ほとんどのメンバーが初めて訪れる福岡タワー。海辺に位置するタワーは日本一の高さを誇り、タワーからのパノラマビューは、博多の美しい街並みや水平線まで見渡せる壮大な博多湾が広がっており、メンバーは開放感ある眺望に思いがけず楽しむことができました。



組合のホームページには木村光紀副部長の体験記と写真を掲載しています。そちらもぜひご覧ください！

北陸鉄工協同組合

検索

事務所のご案内

組合ウェブページのご案内

北陸鉄工協同組合では、組合と組合員の皆様に関するホットな情報をホームページに随時掲載しています。すてきな写真もいっぱい掲載していますので、ぜひ一度ご覧ください。

北陸鉄工協同組合

検索

<https://www.hokuriku-tekkou.com/>



北陸鉄工協同組合の事務局は、石川県庁のすぐ近く。地場産業振興センターなど、40を超える主要経済関係諸団体が集積している「地場産業振興ゾーン」内の石川県鉄工会館2階にあります。

～編集後記～

昨年は当たり前の日常が戻ってきた1年でした。新年懇親会に通常総会の開催。そして工場見学会は4年ぶりの開催ということもあり定員を超えた多くの組合員の皆様にご参加いただきました。また、青年部主催のポリテクセンター石川の見学会・情報交換会。そして4年ぶりに開催の視察研修は北九州へ。多くの学びと交流を深められたようです。

今年も組合員の皆様のお役に立てるよう努めますのでよろしくお願い致します。(小林)



北陸鉄工協同組合

〒920-8203 石川県金沢市鞍月2丁目3番地
(石川県鉄工会館内)

TEL 076-267-1955 / FAX 076-267-0720

Mail hot@m2.spacelan.ne.jp